

「羽ばたけ、大いなる未来へ！」



卒業式に寄せて！

令和5年3月17日（金）、本校第76回卒業証書授与式を挙行いたしました。今年度の卒業生は29名。無事全員に卒業証書を渡せたことに、安どの気持ちでいっぱいです。

未来を担う子供たちは、胸を張り、堂々と学び舎を巣立っていきました。これまで、区長様、見守り隊の皆様はじめ、多くの地域の皆様のご支援を頂きここまで来られたものと感謝しています。紙面にて恐縮ですが、心よりお礼申し上げます。また、中学校へと旅立つ子供たちの見守り、応援、今後とも宜しくお願い致します。



子育てアラカルト 3(最終号)！

☆北風と太陽の如く！

イソップ物語、北風と太陽。内容は、改めて説明する必要もないですね。このお話の教訓は、「北風のように、無理やり人を動かそうとしてもかえって逆効果。太陽のように、人の心を察していけば、自分自身で行動してくれる。」ということ。親や教師という立場は違えども、私たちもかくありたいものです。

ただ、物事、偏り過ぎてはいけません。そもそも、厳しさは、優しさと同居しているもの。厳しさのない優しさは、本当の優しさではありません。すなわち、厳しさは「愛」と言い換えられるでしょう。バランスよく、バランスよく！それが大切なことではないのでしょうか。

☆ファミリーヒストリー！

某テレビ局の番組に、ファミリーヒストリーという番組があるのをご存じでしょうか。自分がどこから来てどこに行くのか。どのような歴史があり今があるのか。歳を重ねるごとに様々な思いが去来する今日この頃です。

さて、この話は数年前のことです。我が家の長女が久しぶりに帰って来て、1泊してすぐ帰っていったのですが、枕元に一通の手紙が置いてありました。思いがけない出来事に驚きながら、封を開け、読んでみました。そこには、こう認めてありました。

「今まで、きちんと叱ってくれてありがとう。おかげで崖っぷちから落ちずに生きています。」娘にとって、あまりいい親ではなかったなあと思っていた私にとって、意外な内容であり、また、嬉しくもありました。中・高の頃、荒れた時代を送っていた娘の本心だったのでしょうか（本人曰く、失われた5年間(*^o^*)）。

皆さん方も、お子様の成長に連れ、これから様々なことに会われることでしょう。その時々、親としてどうあればよいのか、どう子供に向き合うべきか悩まれることでしょう。悩みながらも楽しみながら子育てに奮闘して下さればと願っています。「生まれてきてくれてありがとう！」「親にしてくれてありがとう。」「自分を成長させてくれてありがとう。」という思いを大切に。

美しかった 千代田中部小

およそ三十年ぶりに帰ってきた、千代田中部小。青空に映える白く美しい校舎と周りの風景も、純朴で優しく純粋な子供たちの姿も、思い描いていた通り、いや、それ以上に美しいものでした。そして、あっという間の2年間。その間、保護者、地域の皆様には、多くのご支援を頂きました。おかげ様で「学校づくり」に邁進できたことは何よりの幸せでした。

そして、その間発行した学校だよりも回を重ね、今回で、通算で55号。これが私からの最後のお便りとなりました。

名残は尽きませんが、未来を担う千代田中部小の子供たちのため、これからも、“目をかけ、気をかけ、声をかけ、”頂きたく存じます。この地で退職を迎えられたことに心から感謝します。2年間、本当にありがとうございました。

